

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21074
課題名	膵疾患患者における膵液を用いた新規リキッドバイオプシー体系の構築
研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日
研究の対象	2011年11月2日から2014年3月31日に鳥取大学における臨床試験（研究課題名：KL-6関連抗体、CEAの膵胆道癌診断補助における検証試験【整理番号：1774】）において、検査時の膵液採取に同意いただいた方。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：病歴、治療歴、血液検査データ、画像、病理所見等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（内視鏡検査の際に採取した膵液）
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内 ・研究試料（提供先：合同会社H.U.中央研究所、札幌東徳洲会医学研究所）（提供方法：個人情報識別できない状態で郵送する） ・研究データ、情報（提供先：鳥取大学、札幌東徳洲会医学研究）（提供方法：別途パスワードを使用した電子送信。） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	旭川医科大学 【研究代表者・研究責任者】 高橋 賢治 内科（代謝・免疫・消化器・血液） 助教 <input type="checkbox"/> 共同研究機関： 国立大学法人 鳥取大学 【研究責任者】 武田 洋平 医学部附属病院 第二内科診療科群 助教 <input type="checkbox"/> 共同研究機関： 合同会社H.U.グループ中央研究所 【研究責任者】 犬塚 達俊 事業開発室 室長 <input type="checkbox"/> 共同研究機関：札幌東徳洲会病院 医学研究所 【研究責任者】 小野 裕介 主任研究員
研究の意義、目的	膵癌は5年生存率が10%以下であり、最も悪性度の高い癌として知られています。これまでのところ、膵癌の早期診断に効力を発揮する血液マーカーは無く、診断時には、浸潤・転移を来し進行癌として発見されることが多い状況です。本研究では病気の診断のための内視鏡検査の際に採取する膵液検体を用いて、膵癌

	<p>早期発見に貢献できるような、膵液中の新しいバイオマーカーを発見し、将来的に膵癌拾い上げのための新しい診断方法の構築を目指します。</p>
研究の方法	<p>鳥取大学にて病気の診断のための内視鏡検査の際に採取され、現在も保管されている膵液検体を用いて研究を行います。膵液中の RNA（リボ核酸）発現量を、PCR という手法を用いて解析し、良性の病気と比べて、膵癌で発現量の多くなる RNA を同定します。このような手法で同定された新しい RNA は、膵癌の診断における新しいバイオマーカーとして貢献できる可能性が高く、その有用性について調べていきます。</p>
その他	<p>当研究では、合同会社 H.U. グループ中央研究所は、共同研究契約に基づき EV 回収を担当しますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究代表者： 旭川医科大学内科（代謝・免疫・消化器・血液）助教 高橋 賢治 電話：0166-68-2454 ファックス：0166-68-2459 （平日 8:30～17:00）</p>